

みなさん、こんにちは。

みなさんの中には、「文章を書きたい、けれども、何についてどのように書けばよいのかわからない」という人、あるいは「手紙とか日記とかいった好きに書いていいものはまあまあ書けるけれど、本文を読んでそれをもとにして書くようなかつちりした小論文が特に苦手だ」という人、また「新聞記事のようにカタいものが嫌なんだ」という人など、さまざまな方がおられると思います。また高校生だけでなく、専門学校生・大学生であったり、もう一度文章を基礎から学ぼうという人であったり、もしかすると日本語を外国語として勉強中の留学生であったりするかもしれませんね。

本書はそんなみなさんのために作られました！ 誰でも、どんな立場の人でも本書を使っていただいてOKです。ただ、文章をなんとか自分の得意技にしよう、という熱意だけはしっかりと持ってください。新聞記事を題材として文章の基礎から学べる本書との出会いは、みなさんの活躍の可能性を大きく広げることでしょう。

文章は、自分自身が何を考えているのかをはっきりわからせてくれたり、それを他者に伝えたりするための重要な道具です。道具というよりもむしろ、みなさんの個性を主張するものとしての、ファッションや髪型に近いのかもしれない。自分自身の文章の型を手に入れて、ぜひ伝えたい内容をより効率的に伝えられる技術を手につけていただきたいと思います。試験のため、受験のため、宿題だから仕方なく？ 動機はなんでもかまいません。本書をやり終えれば、表現する力がぐっとついています。それはみなさんが、ある一つの世界観を手に入れたことの極めて確かな証拠です。

二〇一七年 九月

著者

## 新聞から「学ぶ」ということ

◇特徴◇

### ① 最現在への興味を養う

文章を書くことの一つの意義は、状況への批判的な目を養うことにあります。他人の言うことを盲信し、そのままやり過ごす、自分の身を守ることで済ませません。本書で「新聞記事から学ぶことは、世界について考える助けになる」ことを実感してください。そうすれば「最現在への目」はすぐに研ぎ澄まされてきます。また、日本各地の新聞から選りすぐった記事が採録されていますから、隠れた重要問題も知ることが可能ですね。

### ② 身近な話題から社会題材まで

読む力・書く力をつけるアドバイスを、という質問に対して「新聞の切り抜きをまとめる練習をしてらん」と勧めると、多くの生徒・学生が自分の身近な、例えばスポーツの話題ばかりをまとめたりします。もちろん、入り口としてはわかりやすくいいのですが、そればかりだと社会への目が養われません。ちょっと耳慣れない難しい話題にチャレンジすることも必要。本書でまんべんなく、いろいろな主題について考えてみてください。

### ③ 階段を一段ずつ上るように、「書ける」を目指す

文章は、自由にどんな書き方をしてもいいものなのです。けれど、「好きにやっつけていいよ！」と言われると一番困りますね。まだ自由には書けない、ちょっと自信の足りないみなさんのために、段階を踏んで誰でも書ける方式をとっています。手取り足取り、噛み砕いてアドバイスを受けているうちに自然と自信が湧いてきます。いつの間にか自信が出てきて、はじめのほうを見直して「なんて簡単なんだ！」と思えば、もうあなたはホンモノです！

### ◇使い方◇

特徴の③にも書いたとおり、本書は段階に合わせたトレーニング方式を採用しています。ですから「基礎から」を望む人はI部のコラム編からみっちり、「ある程度自信があるんだ」という方は、II部の論説編から始めることも可能です。各自のペースに合わせてご使用ください。

## 目次

I部 コラム編	
入門 ①	オゾン層に修復の兆し
入門 ②	読書で極上の時間を味わおう
演習入門 ①	柄杓の水の一滴から地球規模の想像力を持つよう
演習入門 ②	丁寧に文字を書くことの大切さ
演習レベルⅠ ①	プラスチック漬けの生活を見直そう
演習レベルⅠ ②	叱られ、褒められることの意味
演習レベルⅡ ①	最近の友人づくりの是非
演習レベルⅡ ②	人間は「善」をいつから忘れるのか
演習レベルⅢ ①	教員の過酷な労働実態
演習レベルⅢ ②	読者の魂を揺さぶり続ける漱石の作品
演習レベルⅢ ③	歯のケアで「歯徳の国」をめざそう
実践課題	
II部 論説編	
演習レベルⅠ ①	「火花」の盛り上がりで活字文化の活性化を
演習レベルⅠ ②	「観光公害」という新たな問題
演習レベルⅡ ①	社会全体で考える子どもの幸せ
演習レベルⅡ ②	科学的思考法を知ること
演習レベルⅢ ①	不愉快な人種差別を乗り越え前進を
演習レベルⅢ ②	VR技術の持つ可能性
III部 入試問題編	
問題1コラム①	〈人間の至境〉を示す三字
問題2コラム②	少子化対策、フランスに学ぶ
問題3論説	水平・垂直に移動し見えてくる異世界
【付録】	入試によく出る 小論文テーマ 10選
目で見える小論文のコツ	

信濃毎日新聞	斜面	'16年7月9日…1
福島民友新聞	編集日記	'17年5月22日…4
京都新聞	凡語	'16年3月21日…6
西日本新聞	春秋	'16年3月5日…7
新潟日報	日報抄	'16年5月26日…8
山梨日日新聞	風林火山	'17年5月25日…9
北日本新聞	天地人	'16年4月19日…10
東京新聞	筆洗	'17年2月1日…11
日本経済新聞	春秋	'17年5月2日…12
南日本新聞	南風録	'17年2月9日…13
毎日新聞	余録	'17年6月6日…14
読売新聞	読売新聞	'15年7月18日…16
朝日新聞	朝日新聞	'17年6月14日…18
熊本日日新聞	熊本日日新聞	'15年5月8日…20
日本経済新聞	日本経済新聞	'14年7月21日…22
朝日新聞	朝日新聞	'15年7月1日…24
朝日新聞	朝日新聞	'17年6月18日…26
朝日新聞	朝日新聞	'14年1月4日…28
天声人語	天声人語	'14年2月12日…29
余録	余録	'15年8月19日…30
後見返し	後見返し	32